※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「数学Ｂ」（数研出版）						
副教材等	「４プロセス 数学Ⅱ＋B＋C」（数研出版） 「チャート式　基礎からの 数学Ⅱ＋B＋C」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業内での問題演習の時間は、自ら考え、自らの力で問題に取り組みましょう。また、周りの人と協議した上で、解答を導き出してもかまいません。
・日々の授業を大切にし、授業で習った内容は、必ずその日の内に理解しましょう。そのために復習を大切にし、わからない場合は先生や友達に聞くなどして、わからないところをわからないままにしないようにしましょう。
・問題集に取り組む前に、授業ノートを見直して授業内容を復習しましょう。授業内容に準じて利用する公式を思い出し、丁寧な解答を目指して途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをし、自分がどこでつまずいたか確認して、再度解答してみましょう。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まで諦めずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)　離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	数列	1　数列	a:数列についての基本的な用語の意味を理解することができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ		
		2　等差数列	a：等差数列について理解し、一般項や和を求めることができる。 b:様々な等差数列の一般項や和を求めることができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	
		3　等比数列	a：等比数列について理解し、一般項や和を求めることができる。 b:様々な等比数列の一般項や和を求めることができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	
		4　和の記号∑	a:和の記号∑について理解しすることができる。 b:一般項が 3 次以下の多項式で表される数列の和を求めることができる。 c:様々な数列の和を求める際に活用しようとする。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	課題ﾉｰﾄ ふりかえりｼｰﾄ
		5　階差数列	a:階差数列について理解することができる。 b:数列の和と一般項の関係について理解し、一般項を求めることができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	
		6　いろいろな数列	b:いろいろな数列の和や、群数列について考察することができる。 c:いろいろな数列の和や、群数列について考察しようとする。		定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	課題ﾉｰﾄ ふりかえりｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

	漸化式と数学的帰納法	1　漸化式	a：漸化式について理解することができる。 b：さまざまな事象の考察に応用することができる。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	
		2　数学的帰納法	a：数学的帰納法について理解することができる。 b：数学的帰納法を用いてさまざまな命題を証明することができる。 c：数学的帰納法をさまざまな証明で活用しようとする。	定期考査 小ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	課題ﾉｰﾄ ふりかえりｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度